

IGUJKO

宮城県伊具高等学校PTA会報

No.110 '25:3:1

宮城県伊具高等学校PTA

伊具郡丸森町雁歌51

TEL.0224-72-2020

URL <http://igu.myswan.ed.jp/>

'24-2



おめでとう



3-1 STORY

高校3年間 感謝メッセージ

思い出コーナー

3101 阿部 歩美

先生方へ ありがとうございます！

3102 池田 美愛

家族へ 約18年間ありがとうございました。

これからは恩返ししていきます！

3103 小形 樹

先生へ ありがとうございます。

3104 小野寺 莉穂

楽しい高校生活だった！

3年間父母ありがとう！！

3105 菊地 愛佳

ママへ 毎日お弁当作ってくれてありがとう

4月からよろしくね♡

3106 雷 獅瑠

父母へ 18年間ありがとうございました

これからたくさんの迷惑をかけます

3107 雷藤 葵愛

家族へ ありがとう。これからもよろしく。

3108 佐藤 征哉

お父さん お母さん 3年間いつも支えてくれて

ありがとう。早く自立して頑張ります。

3109 新屋 大智

伊具高へ 3年間ありがとう

3110 鈴木 龍人

保護者様、先生方

3年間大変ご迷惑をおかけいたしました

3111 只野 玲瑠

母へ 高校での3年間支えてくれてありがとうございました。

3112 富倉 遥

3年間ありがとうございました。

3113 森 麗虹

お母さんは3年間朝早く起きて弁当や世話などしてくれて

ありがとう

お父さんは3年間家族のために仕事をしてくれてありがとう

3114 湯村 悠斗

伊具高へ 3年間ありがとうございました。

3115 渡部 颯汰

お母さんへ 3年間送り迎えや弁当を毎日

作ってくれてありがとうございました。

6月 体育祭



10月 伊具高祭



担任・副担任より



『ありがとう』

『ありがとう』



PTA会長 本田 里恵

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様には、お子様が立派に成長され、卒業の日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。また、三年間にわたり、PTA活動へのご理解とご協力を頂きました事、誠に感謝申し上げます。

三月に入り、少しずつ春の暖かさを感じられるようになりました。今年度も無事に終りを迎えることができました。今年度は、会員の皆様からのご支援とご協力のおかげで、心より感謝申し上げます。卒業生の皆さんにおかれましては、新たな一歩を踏み出す準備をされていること、これまでの母校での経験や努力が実を結び、さらなる飛躍を遂げられることを、心より願っております。

今年度は野球部の復活が大きな話題となりました。生徒たちが新たに野球部へ参加し、練習に励む姿が見られ、地域のニュースにも取り上げられました。部活動を通じて、仲間との絆を深め、学校生活を充実したものにしていることも嬉しく思います。

在校生の皆さんも、これから迎える新たな学年に向けて、さらなる成長と活躍を期待しております。私たちPTAも、引き続き皆さんを支援し、より良い学校づくりに貢献してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



校長 齋藤 隆

PTA会員の皆様には日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度も大きな事故等もなく、無事に三月を迎えられましたことに感謝申し上げます。今年度のPTA活動は四月の総会に始まり、朝の一声運動や各種委員会、伊具高祭での模擬店協力と様々な事業に取り組みいただきました。本田PTA会長を始めとする役員の皆様には役員会から事業当日まで何度もご来校いただき、どの行事でも充実した内容で楽しく実施できたことに、生徒たちにとって良い思い出となったことと思います。

さて、今年度は宮城県P連の創立七十周年にあたり、毎年実施しているみやぎ高校PTAフェスティバルと創立七十周年記念式典を同時に開催することになりました。十月二十二日(火)に日立システムズホール仙台で開催され、第一部では記念式典を実施後、PTAフェスティバルのトラクションとして、全日本合唱コンクール県大会で金賞、同東北大会で銀賞となった仙台三枝高校音楽部の合唱を演奏していただきました。第二部の記念講演では「デジタル時代に備える情報教育」をテーマに、株式会社イトナフ代表取締役の古山隆幸氏(石巻市出身)の講演が行われました。小学生もプログラミングを学ぶ時代だから、遊びからIT教育を学ぶ大切さを話されていました。第三部の研究協議では、各支部代表によるパネルディスカッションに本校の本田PTA会長がパネリストとして参加し、本校のPTA活動の紹介と課題について発表

していただきました。会場には約二百名を超える方々が来場し、各高校の取り組みを熱心に聞き、PTAの役割と存在意義を改めて確かめ合う素晴らしい大会となりました。今年度のPTA事業での心残りは、PTA研修ではないでしょうか。感染症の心配が若干あることから中止とさせていただきました。予定では平泉・中尊寺を候補としていましたが残念でなりません。来年度こそは実施したいものです。

最後に、三年次生の皆さん、三年間の高校生活はどうでしたか。多くのことを学び、大人として成長できた三年間だったと思います。それぞれの進路で大いに活躍されることを期待しています。保護者の皆様には、これまでのご支援・ご協力に改めて感謝を申し上げます。卒業後も相変わらぬご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

『やるだけやってみる』

三年次主任 小笠原 由也

三年次生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業を迎え、皆さんはどんな思いでしょうか？振り返ると長かったでしょうか。皆さんと過ごした三年間は、やりたかったことをたくさんやらせていただいた三年間でした。

一年次では、工場見学や車いすバスケットボール体験などを年次の先生方で企画して、様々な活動を通して、知見と経験を蓄えた一年目でした。二年次のインターンシップでは、自らの進路希望に沿った実習先を割り振り、二回目のインターンシップも例年稀に見る人数が参加し、最終的には進路達成に結びついている形となりました。また、「子供も大人も楽しい修学旅行」と題して臨んだ修学旅行では、誰一人として離脱者が出

ずに、生徒の皆さんも先生方も思う存分満喫することができました。いよいよ迎えた三年次では、進路達成に向けて、各々が全力で取り組みましたね。面接指導で泣いた生徒、取り組みが運けてプチギレられた生徒、当日の新幹線が運休のトラブルになって試験開始十分前に何とか会場に辿り着いた生徒など、挙げればキリがありません。新規採用の企業も増え、伊具高校の過去の歴史を見ても一番の進路実績だと思えます。大変誇りに思います。

なぜこれだけのことをやれたと思いますか？『やるだけやってみる』のタイトルとおり、三年間やるだけやっていたからですよ。頭で考えてまずは実行することです。必死にやるからおもしろいし楽しい、仮に失敗しても誰かが助けてくれるし、失敗から学ぶことの方が多いです。

「真剣だと知恵が出る 中途半端だと愚痴が出る いい加減だと言いつけはかり」(誰の格言かはGoogleで調べてください)

他人に左右されず、まずは自分から行動に移してください。失敗を他人のせいにはしないでください。偉そうなこと書いていますが、もつともつとやれたこともあったのではないかと思っています。自信をもってこれからの人生を歩んでください。

結びに、保護者の皆様には、これまでのご支援とご協力に深く感謝いたします。皆様の今後の益々のご発展をお祈りいたします。ご卒業、誠におめでとうございます。



お世話になった家族へメッセージ

青木 咲翔	3年間おいしい弁当を作ってくれてありがとう。
伊東 璃久	支えてくれてありがとう。これからもしっかり前に進んでいきます。
大内 蓮	美味しいお弁当をありがとう。たまご焼き最強でした。
太田 夏暉	いつも支えてくれてありがとう。努力する姿で恩返しします。
草野 愛梨	3年間送り迎えありがとう。就職しても頑張ります。
酒井 結良	18年間育ててくれてありがとう。 大学でも私なりに頑張るのでこれからもよろしくね！
清野 颯太	弁当おいしかったです。ありがとうございました。
関 琉夏	3年間送迎してくれてありがとうございます。
芳賀 瑛璃花	今まで何不自由なくバスケットをさせてくれてありがとう。 これからは恩返ししていけるように仕事頑張ります。
目黒 渚	朝、起こしてくれてありがとう。
森 華	3年間お弁当と送り迎えありがとう。
門馬 元秀	毎日弁当作ってくれてありがとう。 いつも弁当をあけるのが楽しみでした。
八巻 龍聖	いつもありがとうございます。
山崎 琥太郎	18年間ありがとうございます。 そして、これからもよろしくお願いします。



今まで
ありがとう
ございました！

三年二組 家族に一言!! (日頃の感謝の気持ち伝えます!!)

石塚 清玲 お金のかかる子だけと育ててくれてありがとう! ありがとう!	稲垣 翔太 ありがとう
大内 凜 いままでありがとうございました! いっぱい恩返しできるようにがんばるね!	大沼 羽稀 ここまで育ててくれてありがとう。これからもよろしく。
作間 洗斗 今まで支えてくれてありがとう。社会に出ても恩返しができるよう、頑張ります。	佐藤 拓真 今まで育ててくれてありがとうございました。これからは、支えられるように頑張っていきます。
佐藤 夕聖 すんごい感謝!!	清水 大聖 18年間ありがとう。これからも頑張るので見守っててください。
菅原 公輝 18年間、育ててくれてありがとうございました! これからは自分が支えていきます!	高野 美空 ここまで育ててくれてありがとう。支えてくれたから今の私がいます。
本田 泰誠 ...	武者 彩乃 3年間毎日、お弁当を作ってくれてありがとう!
八島 遥斗 毎日送り迎えありがとう。	八巻 蘭 育ててくれてありがとうございました
横山 遥人 長い間お世話になりました。	





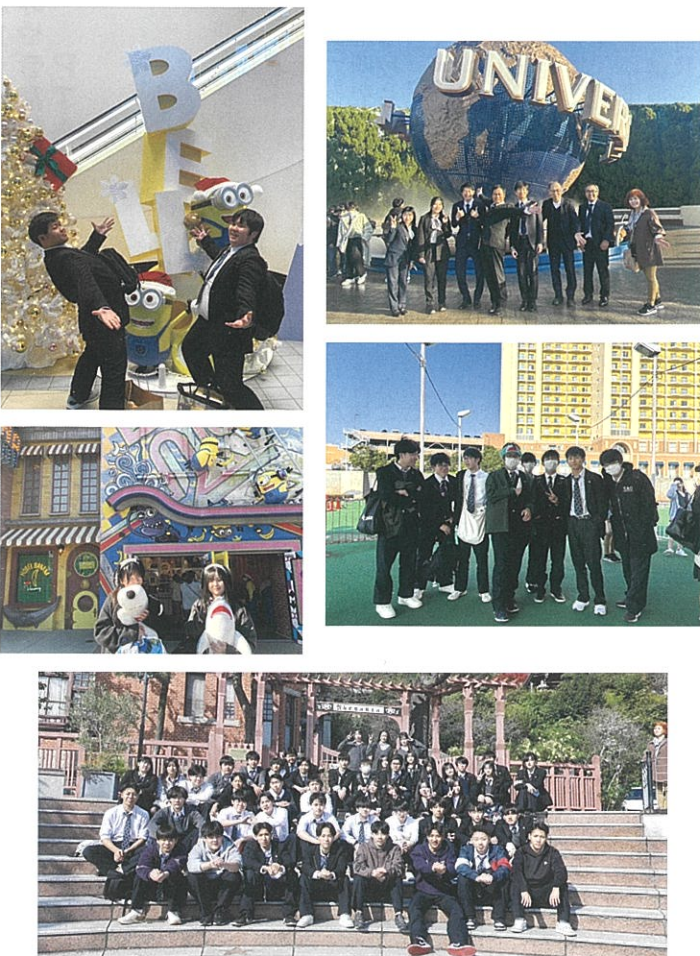
インターンシップを通して得た経験や学んだことをこれからの人生でしっかりと生かしていきたいと思います。



インターンシップで特に学んだことは、お客様との接し方やコミュニケーション能力、企業の業務内容です。図書館の業務内容の中で一番印象に残っていることは、POPの作成です。POPの作成では、どのようなデザインや言葉が利用者の目に留まるかなどをしっかりと考え作成しました。

二年三組 長谷部 碧音

2年次インターンシップ



修学旅行二日目大阪のグリコサインなど、観光スポットを巡って班の皆と写真を撮ったり、お土産を買ったりして楽しい時間を過ごしました。一日目から皆の笑顔が絶えませんでした。二日目はユニバーサルスタジオジャパンへ行きました。丁度クリスマス前の時期に行けたので運が良かったなと思いました。友達と一緒にアトラクションに乗る時のドキドキやショーのワクワク感は忘れられません。三日目は異人館に行き、レトロな建物や洋館を見学しました。外国の様な雰囲気に包まれて、新しい発見が沢山ありました。皆と写真を撮りながら、思い出を沢山作りました。修学旅行を通して感じたことはいつもとは違う建物や人の雰囲気など自分が住んでる場所の雰囲気とは全然違って大阪の温かさや人の良さが伝わってきて、また大阪に行きたいなと思いました。



修学旅行二日目大阪のグリコサインなど、観光スポットを巡って班の皆と写真を撮ったり、お土産を買ったりして楽しい時間を過ごしました。一日目から皆の笑顔が絶えませんでした。二日目はユニバーサルスタジオジャパンへ行きました。丁度クリスマス前の時期に行けたので運が良かったなと思いました。友達と一緒にアトラクションに乗る時のドキドキやショーのワクワク感は忘れられません。三日目は異人館に行き、レトロな建物や洋館を見学しました。外国の様な雰囲気に包まれて、新しい発見が沢山ありました。皆と写真を撮りながら、思い出を沢山作りました。修学旅行を通して感じたことはいつもとは違う建物や人の雰囲気など自分が住んでる場所の雰囲気とは全然違って大阪の温かさや人の良さが伝わってきて、また大阪に行きたいなと思いました。

二年一組 渡辺 晴香

修学旅行報告

伊具高祭 BeReal ~青春をシェアしよう~

文化祭実行委員長 草野 愛梨

今回の文化祭では、写真を撮りながら思い出に残る文化祭になるよう「BeReal ~青春をシェアしよう~」というテーマを掲げ、準備から当日まで各学年とも協力して取り組んでいる姿が印象的でした。三年生は、最後の文化祭を楽しもうと有志発表や系列の活動にも力を入れていたのが実行委員長として大変嬉しく感じました。一般公開当日は、地域の方や卒業した先輩方、小さなお子様まで来場いただき、模擬店も大盛況でした。文化祭実施にあたり、ご協力いただいた先生方、生徒のみなさん、ありがとうございました。



学習発表会

一年一組 長谷部 翔威



一月十六日(木)に行われた学習発表会で、一年次は、「産業社会と人間」活動報告について、二年次は「インターンシップ、修学旅行活動報告」の学習成果の発表でした。三年次は各系列ごとに課題学習報告成果発表を

しました。
この発表の中で特に印象に残っているのは情報系列の発表が印象に残っています。情報系列で、はちみつを使った商品や、文化祭でのコラボメニューのことなどすっかりまとめられて、とても良いなと思いました。



創立七十周年記念式典並びにみやぎ高校PTAフェスティバル 2024 報告

参加者 会長 本田 里恵
幹事 門馬 明子
役員 稲垣 俊介
学校長 齋藤 隆
事務局長 熊谷 郁

十月二十二日(火)に日立システムズホール仙台にてみやぎ高校PTAフェスティバル二〇二四が開催されました。今年宮城県高等学校PTA連合会七十周年ということもあり、フェスティバルに先立ち創立七十周年式典が催されました。
開会式セレモニーでは宮城県高P連会長、稲垣美樹氏の式辞に始まり、宮城県教育委員会教育長、全国高P連会長からもお祝いの言葉を頂きました。

その後、仙台三校高等学校音楽部のきれいで楽しい歌声による演奏をはきみ、第二部の記念講演と続きました。テーマを「デジタル時代を育むために」として、株式会社イトナブ代表取締役、古山隆幸氏の講演でした。石巻市出身の古山氏は母校の石巻工業高校などでソフトウェア開発の授業を行いながら、同時に若者であれば誰でも気軽にプログラミングを学べる「イトナブ」を立ち上げ、プログラミングについて学べる環境作りを行ってきました。また「IT教育の学びのモデル」として石巻市で活動をしてきたものを全国に展開し、多くの人材を育成しています。講演の中で見たイトナブで楽しそうに学ぶ子どもたちの笑顔が印象的で、ここから巣立った子どもたちが地元で新たな活力を与えてくれる期待を感じました。

第三部は研究協議としてパネルディスカッションがあり、各支部からの発表を中心とし、テーマは「今、あらためて考えるPTAの役割と意義 PTAだからできること」でした。仙南支部として伊具高校PTA会長、本田里恵が発表しました。「コロナ禍前後の本校のPTA活動と課題」という

内容で、本校のPTA活動の状況や現在考えられている問題点を挙げていただきました。他の発表は「塩釜高校のPTA活動」「岩出山高校のPTA活動」「本校のPTA活動の取り組みについて」(東松島高校)、「今こそPTAも変革を」(二迫商業高校)でした。伊具高校と同じような規模の高校からは「同じような生徒数減に悩む様子や、独自の活動の状況を聞くことができ参考になりました。また生徒数の多い高校にも、少人数の学校とは違う難しさがある事も分かりました。



編集後記

今年度最後の「IGUKO一〇号」の発行となり、無事に皆様にお届けすることができました。先生方、役員の方々お忙しい中ありがとうございました。また、三年生の皆様ご卒業おめでとうございます。本校で学んだ三年間、社会の中できつと役に立つ事でしょう。自信を持って未来へと羽ばたいて下さい。
また、卒業を迎えられる保護者の皆様、長年に渡るPTA活動のご協力ありがとうございました。在校生の保護者の皆様、引き続きご協力の程よろしくお願ひ致します。一年間ありがとうございました。 広報委員(Y)

三年生の皆さん、並びに保護者の皆様、卒業おめでとう御座います。
「光陰の如し」この言葉は私が高校に入学した時、古文の先生から送られた言葉です。月日の過ぎていくのは、飛ぶ矢のように早い。だからこそ日々を大切にしよう。就職、進学とそれぞれの道を歩み始めますが、きつとこの三年間の思い出を糧に頑張れる事でしょう。
広報発行にあたりお忙しい中、先生方にはご尽力頂き有難うございました。 広報委員(O)